

令和２年度第２回碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議

議事要旨

日 時	令和2年11月20日（金） 午後1時～午後3時		
場 所	碧南市役所 7階 議員大会議室		
出席者 ■出席 □欠席	推進会議 委員	■禰宜田市長 □石川委員 ■齋藤委員 □三島委員 ■平松委員 □玄間委員 ■本田委員 □岩崎委員 ■三浦委員 □永田委員 □岡本委員 □宮崎委員 ■山田委員 ■鈴木委員 ■永坂委員 □高須委員	
	事務局	奥谷総務部長、生田経営企画課長、鈴木主査、渋谷主事、中川防災課長、中根地域協働課長、生田下水道課長、亀島都市整備課長、金原環境課長、村松こども課長、小澤学校教育課長、岡本スポーツ課長、杉浦文化創造課長、磯貝健康課長、三島高齢介護課長、生田土木港湾課長、川村都市計画課長、亀島農業水産課長、中嶋商工課長	
傍聴者	1名		
次 第	1 市長あいさつ 2 第2期人口ビジョン（素案）について 3 第2期総合戦略（素案）について 4 意見交換 5 今後のスケジュール（案）について		
1 市長あいさつ	○市長よりあいさつ		
2～4	○本日の議事録及び資料は市のホームページで公開することを説明 ○2、3については議長（市長）により進行、事務局から資料説明 ○4意見交換により聴取した内容は以下のとおり		
委員からの主な発言			
次第4よりの意見			

齋藤委員	●商店街連盟について、現在１３団体で会員数は５９９名。 ＜総合戦略について＞ ●５ページ ＫＰＩに商業団体の数は掲載した方がいいのか。事務局で判断をよろしくお願ひします。 ●８ページ 数値目標、ＫＰＩに海底トンネルの利用数はいれなくていいのか。指標として生かされるかどうかご検討ください。 ●レールパーク整備事業として、市民が健康維持のため、利用環境を整えている。移動の利便性、通勤に利用していたりと、どこかに表記があってもいいのではないか。 ●１２ページ 基本目標３の学校教育のＩＣＴの利用や家庭教育の充実に金融教育を授業として入れることはできないのか。学校教育に利用できる資料が整っているので、例えばＺＯＯＭを使ってとか、市民の方に参画して、金融教育をしてみたらいいのではないか。 ＜人口ビジョンについて＞ ●国勢調査を利用して、年齢階層、産業別、地域ブロック別など若い人がどういう風に碧南を選んでいるのがわかるのではないか。地元の就職率の動向、就職先、Ｕターンもあると、しごとづくり、人の流れがわかるのではないか。 ●外国人の割合が増えている。平成２４、２５年が増加の起点となっているので、人口増加の傾向が一つの表でわかるようなものをつけてはどうか。 ●人口減に対しての経済状況など、どんな影響があるのかという将来的な展望の表現があってもいいのではないか。
事務局	●ＫＰＩに商店街とのご意見についてですが、一つの施策について一つのＫＰＩだとボリュームが多すぎるため絞っています。実際に掲載するのか、海底トンネルの件も併せて持ち帰らせてください。 ●レールパークの整備については、公園の整備の１つと整理しています。公園については、代表格的として明石公園を掲げています。レールパークを前に出すかは検討させてください。 ●教育の関係で、金融教育はどうかといったご意見があったということは所管部署に伝えます。ただし、現時点ではないということをご理解ください。 ●人口ビジョンに今回の国勢調査を反映させるには、結果が間に合わないため、前回のものを使う方がいいのか、国の出しているリーサスを使うかどうか検討します。新しい情報で統計されているリーサスというビッグデータでうまく調べることができればと考えています。

平松委員	●漁業に関しては、しらす、とり貝は毎年取れるものではないため、収入について上下があり、稼ぐ地域を生み出せるかいうと漁業に関しては難しい。 ●新規の２０代、３０代は、結婚、子育てなど先を見据えたときに稼ぎの収入の計画が成り立たないものには就きたがらない。
事務局	●しらすは特産品として、ふるさと納税としてもお礼の品となっています。メーテレの「ドデスカ！」で、返礼品としてしらすを取り上げてもらった。訳ありでお得感でだして報道されたら、すごく寄付が伸びた。１次産業を支援する施策として、農業水産課とも連携してやっていきます。
本田委員	<人口ビジョンについて> ●第３節の将来の人口目標について、目標を高くするのはいいと思うが、社人研の指標と乖離がある中で、特にどの分野に力を入れてやっていくのか。 <総合戦略について> ●４ページ 数値目標とＫＰＩについて第１期から変えたものと変えた理由について教えてください。
事務局	●人口ビジョンで大幅に違う点としては、前回の国勢調査では碧南市の人口が減り続けているというタイミングだったので、どんどん減っていくのが社人研の指標となっていますが、現在人口はふえているため、今回の国勢調査では前回ほどの減少幅ではなくなるのではないかと考えています。 ●力を入れている分野としては北部地域に工業用地を整備し、働き先、雇用など人が流入してくるという考えをもっています。 ●数値目標やＫＰＩにおいて経済センサスを使っていたが、４、５年を経過しないとわからないものもあります。そのため、第１期の反省を踏まえて、毎年数値目標を出せるものに変更しています。ＫＰＩにしても、市の事業として引き続き設定しているものあれば、新しく設定しているものもあります。
永坂委員	●碧南市で一番自慢できるのは、レールパークです。
市長	●来年の３月からは駅からレールパークがつながります。今よりレールパークが３００メートルぐらい長くなります。
鈴木委員	●日本語教育の充実とあるが、不登校の子に外国籍の子が多く、言葉がわからない子どもたちをどうにかしてあげられないのか。学校では支援の話を聞かないので、どうやってボランティア団体へつなげていくのか。 ●特定の用紙に判子が押してないため、さつまいものごみを捨てるのに１５００円かかった。特定の用紙に判子があると無料になるため、用紙をもらえる仕組みがどうにかできないか検討してほしい。 ●意外と地区の人は知らないなので、おやじの会の団体活動や他の活動などのうまくＰＲできないのか。

事務局	●全部の学校の子たちが受けられるわけではありません。学校からお知らせはしています。不登校の子が減るように力を入れていきますので、今後ともよろしくをお願いします。 ●ごみの件は衣浦衛生組合との連携がうまくできなくてすみません。例えば、教員なり保育園の先生等を通していただければ、そこ通して用紙をお渡しするなど、個別に対応させていただきたいと思っています。 ●青少年、おやじの会などは基本目標４に掲げており、地道な活動ですが、他の地域と一緒に盛り上げていければと思っています。
市長	●碧南市の特徴として、外国人のスクールアシスタントを設置しているというのがあります。
山田委員	＜総合戦略について＞ ●１３ページ 学校教育の充実 GIGAスクール構想について、インフラができて中身が重要であります。どういう観点でやっていくのか。 ●１７ページ 行政のデジタル化 市役所では、デジタル化に向けてどういった業務改善をやっていくか。判子だけではなくどういった形でデジタル対応していくのか教えてください。
事務局	●GIGAスクール構想により、デジタルのインフラは今年度で一人１台のタブレットが整備されます。次年度以降の取り組みですが、ICT支援員を各学校に配置できるよう準備し、来年度に向けての体制づくりを進めています。 ●行政のデジタル化について、紙をなくそうという取り組みを１年前からしています。市長自らペーパーレスを実践しており、部長や課長にもペーパーレスの考えは浸透しています。紙の見える化や総務部で電子決裁１００％を目指しています。 ●特別定額給付金では判子でなくてもサインでいいという取り組みを実施しました。 ●対面なら本人確認できるので押印はある程度簡単にできるという認識です。非対面のときの本人確認の担保が難しいので、少し時間はかかることと想定しています。 ●庁内のwi-fi環境も来年やっていく予定であり、セキュリティの面も確保しながらやっていきたいと考えています。 ●最近ではZOOMを使った会議も実施しています。
三浦委員	●創業件数、事業者数をKPIとして入れるべきではないか。他市では入っているところ多い。 ●創業チャレンジ支援事業があり、スタートアップの支援は当然の中、創業後支援もパッケージでやっていくことが重要であります。

事務局	●創業件数については、開業届と税務署に直接出されるものがあり、正確な数値を図ることができない。K P I については、掲載できるのか検証します。 ●創業後の支援につきましては、実際は行っています。3年経った時点で、事業拡大についての補助などの支援をしているところです。 ●商工課の中で、企業応援係があり、企業の御用を聞いたり、企業支援に特化した企業応援ナビがあり、支援事業の紹介をしています。
-----	--